

平成29年12月

協会会員殿

一般社団法人 日本防錆技術協会
防錆管理士会
幹事長 酒井 哲也

新春防錆技術講演会・新春のつどい

日時 平成30年1月26日(金)
新春防錆講演会 15:00~16:50
新春のつどい 17:00~18:30
会場 東京ガーデンパレス 文京区湯島1-7-5
TEL 03-3813-6211
新春防錆講演会 2階 高千穂A
新春のつどい 2階 高千穂B
・JR 中央線「御茶ノ水駅」 聖橋口より徒歩約5分
・東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」より徒歩5分



定員 120名
内容

「微生物が関与する炭素鋼の腐食と硫化水素の生成」

東京工業大学生命理工学院 教授 丹治 保典 殿

高度経済成長期に建設された橋梁、道路、上下水道などの社会インフラが耐用年数とされる50年を越え、補修・更新の時期を迎えている。多くのインフラに使用されている炭素鋼の腐食は化学反応により進行するが、微生物が関与することによりその化学反応が促進され、思いもよらぬ事故が発生することがある。講演では微生物が関与する腐食（微生物腐食）のメカニズムを遺伝子解析から究明する手法と防錆のポイントを紹介する。

「自動車産業が迎えているパラダイムシフト」

早稲田大学環境総合研究センター 参与 招聘研究員 樋口 世喜夫 殿

欧州企業の電気自動車への戦略転換、仏英政府の2040年までの内燃機関車販売禁止、米国のZEV規制強化と中国のNEV法導入などは、トヨタにも電気自動車への対応を促している。Googleの公道での無人車走行が、交通事故死者ゼロ化・交通弱者の移動手段・人手不足対策等への自動運転車の普及を促進している。電動化・自動化・知能化により、自動車の多様化が進み、素材・部品の軽量化、効率向上、電子化、ビジネスチャンスを迎えている。

会費 協会会員 無料

申込み 参加申込書にご記入の上、FAX又は郵送でお申し込みください。

一般社団法人日本防錆技術協会 FAX 03-3434-0452

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館309号

新春防錆技術講演会・新春のつどい 参加申込書

参加行事	参加される行事に○をしてください。 新春防錆技術講演会 ・ 新春のつどい(新年懇親会)		
勤務先名			
所属役職			
氏名		TEL	